

ワーキング・ウーマン
〒464-0092 名古屋市千種区
茶屋が坂 2-6-B-805
(052) 842-2739 (内藤)
留守番電話・FAX
http://www008.upp.so-net.ne.jp/w_woman/

♀W・Wニュースは隔月発行です
申込先 干振替 00870-4-10024
ワーキング・ウーマン
年間購読料 4000円

ワーキング ウーマン



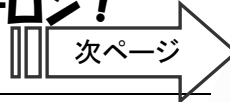
WORKING WOMAN
男女差別をなくす愛知連絡会

国際女性デー 岡谷鋼機女性差別裁判不当判決抗議行動

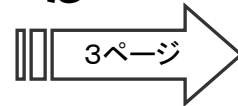
■3月8日(火)12:20am~12:40

■裁判所合同庁舎前(地下鉄市役所)

当日は、風船あり、仮装あり、華やかなフラカード
ミモザの花もモチロン!



WW春の例会はWALKING WOMANだ
4月9日(土)春の岩村へハイキングに!



= CONTENTS =

- * 岡谷裁判抗議行動 …2 * 女の映画評「北の零年」 …7
- * WW2005年間計画 …3 * 資料室：ミニコミ情報 …9
- * ビデオ制作実行委員会 …4 * 他グループ主催企画など …12
- * 例会報告：児童虐待の現場から …6 * アブグレイブ 性的恥辱、性の混乱と恐怖 …13

3.8国際女性デーは名古屋地裁へ

～岡谷差別判決への怒りと、雇用平等の要求を声にしよう～

今年の国際女性デーは、あのひどい岡谷鋼機差別裁判判決を出した名古屋地裁前に集まり、ミモザの花やカラフルな風船を手に手に、抗議行動をします。

均等法改正の山場の年でもあるので、併せてアピールします。平日なので、近くに勤めている人が参加しやすいように、お昼休みの12時20分から12時40分とし、フルート生演奏をBGMに、全国から集まった抗議文を次々読み上げます。

できるだけ、元気に、華やかにやりたい、方々の職場から、たくさんの女性達がぞくぞくと集まってくるといいなと思います。男性も歓迎。タクシーに分乗してくるグループもありますよ。参加者は何も準備しなくてもよく、すべて主催者（均等待遇東海）で用意します。変装グッズもあり。にぎやかにアピールしたあとは、裁判所に抗議文を提出します。

抗議文をまだ出していない人は是非、今すぐ下記あてメール送信してください。締め切りは3/7。ご自分の住所とお名前をお忘れなく。

fj-msk@bb-west.ne.jp

○原告藤沢さんのアドレスです。プリントアウトして裁判長に届けます。

○抗議先は、名古屋地方裁判所民事第一部橋本裁判長。

○抗議文は簡単でけっこうです。不当と考えるのは次の点です。

- ①憲法14条の趣旨に反すると言いながら、法律違反でないとする点
- ②旧均等法は採用・配置について「努力義務」規定だったから違法でないとするのは、1986年施行の均等法をないがしろにするもの
- ③原告が提示した、男女とも同一の契約のもとに、同一の仕事をしていてという数多くの証拠を無視した点

◎当日昼に参加して下さる方、人数を把握したいので、できればご連絡ください。もちろん飛び込み大歓迎です。待ってます。

連絡先 FAX 052-581-3038(奥田)

Let's Unite & Celebrate International Women's Day 国際女性デー

“アジアの女性の労働状況を考える”

3月13日(日)午後1時から4時 @栄 YWCA ¥500

問合:横井 090-3932-6463

WW2005年間スケジュール

4月 WALKING WOMAN 春の岩村へハイキング (下を見てね)

5月 ビデオ完成、試写会

6月～7月 均等法改正についての勉強会と行動開始

1月に大脇雅子さんから今後の運動について多くの助言をいただきました。

「均等待遇東海」などと協議し、3～4月に方針を決め、実行していく予定。

8月 夏合宿

10月 講演会 グローバリゼーション、憲法改正など検討中

12月 年末パーティ

WW春の例会

WALKING WOMANだ 4月9日(土)春の岩村へハイキングに

明智鉄道岩村駅から、約12km程度のコースを
2～3時間で、大正村のある明智まで歩きます。

明智ではWWの仲間、吉谷さんの経営する、
カフェ「ねこのや」にも立ち寄る予定

【スケジュール】

名古屋 8:03 (JR中央本線) → 恵那 9:03 (1110円)

恵那 9:17 (明智鉄道) → 岩村 9:57 (470円)

↓
ハイキング+お弁当

↓
明智駅から明智鉄道で帰ります

- 少雨決行
- 実施の詳細は参加者に連絡。
- 参加予定の方は
4月5日(火)までに
052-842-2739(留守電・FAX)
or WWS1986@hotmail.com
にご連絡を!

見どころ
姥石石仏群
飯高観音
安住寺 など



ビデオ制作実行委員会からの報告

2月28日、名古屋市の地下鉄運転手を撮り終えこれで、全職種完了！

あと、足りないカットを撮ったりする予定もありますが、基本手的には一路編集へと進んでいきます！そして、添付パンフレット作成、予約セールスに取り掛かっていこうという状況です。

2月9日「藤原ディレクターと打ち合わせる会」を行いました。

○藤原さん、高野さんの原案に基づいてシナリオのイメージについての確認とディスカッションを行い、メンバーからのアイディアもどんどん出てイメージは広がりました。

以下、登場順

(地下鉄)

- ・車両点検、運転席の様子、走行時のようすなどのシーンが取れた
- ・「小さい頃から乗り物の運転を仕事にしたいと思っていたが、募集がなかった。地下鉄の募集があつてなりたいものになれた」という点をポイントに。
- ・かっこよく引き締まった絵になりそう

(NPO)

・自分のやりたいことを、仲間をあつめて組織化し仕事にしたというシナリオ

- ・「NPO とは何か」は難しいので、パンフで説明

(保育士)

- ・女性の多い職場で自然体で働く姿を描く
- ・子供たちへのインタビューをいれる

(農業)

- ・飾らず黙々と働く姿を美しい自然の映像を生かして。
- ・目の前で出来ることをしていくうちに働き甲斐となったという線で。
- ・自然に働きかけて、収穫をえるという「労働の原点」である農業に関してコメントを入れる

(新聞記者)

- ・朝保育園へ送り、家事をし、出社するという流れ
- ・妻も夫も激務だが好きな仕事をする中で、お互いを尊重しながら働いている点にスポット

(ペットシッター)

- ・ペットシッターという仕事内容を追う
- ・彼女の仕事への厳しい姿勢を語ってもらう
- ・会社勤めでなく起業したという点にスポット

(貿易会社)

- ・商談、雑務、営業などの内容を追う
- ・中国語能力を生かしたいという思いを具体化したという点にスポット

○前半4話、後半4話とし、中休みを入れた方が良い

・その案としては

中学生へのインタビュー、幼児へのインタビュー、大人の「ひとこと(動機。仕事についての感想など)」などが出ているが検討課題とする

○編集のスケジュールが決まったら連絡を受け、参加できる人は参加する



「児童虐待の現場から」

を聴いて

2月5日(土)名古屋市女性会館にてワーキングウーマンの会員の奥田祐子さんの「児童虐待の現場から」という講演がありました。私は個人的には野並子どもをの村を16年間運営してきた子どもにかかわってきたことと、虐待やいじめ防止のためのCAPプログラムを推進してきた立場から、大変関心のあるテーマでしたので参加させてもらいました。

奥田さんは児童相談所の児童福祉司という立場から、虐待に関する法律、又サポート体制の実態や、概略ですが今現場で起こっていることを話されました。

まず児童(0歳から18才未満をこの場合さす)虐待とは身体的、心理的、性的虐待とネグレクト(養育放棄・怠慢)を指しこれらを大人が犯した場合児童福祉法、児童虐待防止法によって子どもは守られます。

児童福祉法は昭和23年に施行され、虐待相談件数の増加の実態に合わせるため平成12年に児童虐待防止法が施行され、同法は平成16年に改正されました。この児童虐待防止法の大きな特徴は子どもの人権という言葉が入った事と児童虐待の禁止をはっきりと成文化した点と、通告の義務が個人のみならず団体(学校、保育所、児童福祉施設など)にも課せられた点、又通告者を漏らしてはいけないということも入れられた点などです。又虐待を受けた児童の安全確認、保護などのために児童相談所長が必要と認めた時は警察官の援助が認められるようになりました。そして児童福祉法も改正され、今年(2023年)の4月1日から施行されます。この改正では、児童相談所長が施設入所の申し立てをした場合、家庭裁判所の審判は入所の期間を2年と限定したこと、また、虐待の通告、調査、対応の窓口が児童相談所から一義的には市町村になったことなど大きな改正がありました。

これは私の意見ですが、児童虐待防止法は成立に向けて奔走された多くの方のお力で成立し、また改正されましたが、実際の相談例で

は、なかなか行政のする範囲内では大変なことのように思いました。例えば虐待された子どもが保護される一時保護所は愛知県では1箇所しかなく、それも定員が20名との事の実態とかけ離れた数に呆然としました。

具体的なケースはここでは略させてもらいますが、施設や一時保護所が今は命だけは何とか助けることができるが、心のケアや生きていくための生活指導など出来るには多くの場合、程遠い実態であることがわかりました。そんな中で施設の職員や関係者は心ある人ほど苦悩しているのだらうと思います。

講演会后、奥田さんから杉山春著「ネグレクト」という本を貸してもらって読みましたが、地域や親戚などの援助が薄らいている現在、貧しい知識や経験しかない親が誰の援助もなく鉄筋コンクリートの部屋の中で子どもを育てていく大変さや、虐待の恐れを感じていても公的機関の人達の介入の難しさがあることを知りました。

私が今もし親だったらどうするのだろうか？私が今もし隣人の虐待に気づいていたらどうしたら良いのだろうかを考えてみると、大変苦しいものを感じます。もちろん私達全員に虐待を見つけた場合通告の義務があります。実際に子ども達を助ける方法として今の実態は人権先進国と比べてかけ離れているように感じました。虐待児専門の医療機関があるアメリカや、虐待された子どもが安心して話をしたり心を癒す場として緑に囲まれゆったりしたソファのある家が完備されたイギリスや、虐待親への教育プログラムが課されているスカンジナビアなどと較べて、善意の人達で親援助のプログラムが日本でも続けられていますが、制度化はされていません。社会的な要因が虐待を助長している点もあり(貧困や労働時間の厳しさなど)社会そのものを変えていくことが一番大事だと思いました。それが最大の予防になります。政治はもっとこのような子ども達に予算を割り、自衛隊のイラク派遣や無駄な公共施設建設費などをまわさせなければと強く思いました。それには私達一人一人の意識がそこに向かない限り無理ではないでしょうか。そういう意味で今回の講演会は私達一人一人に子ども達をどうサポートしていくかを問う意義のある会でした。(加藤くに子)

「北の零年」 — 白小百合・黒小百合 —

高野史枝

●主演・吉永小百合の不安感

「吉永小百合を主演に据えて映画を撮って」といわれた監督の気持ちで、どんなものだろうか。勝手にソントクすると

- ① 超ラッキー。何たって吉永小百合は日本映画のマドンナだし。熱烈サユリストが、劇場に押しかけるとするなオレ。
- ② 超シンパイ。吉永小百合の出る映画って、たいていつマンないぜ。70年以降の主演映画で当たった作品一つもないだろ。大丈夫かオレ。

とまあ、この二つのせめぎあいと見る。『北の零年』を任された行定勲監督と、脚本の那須真知子さんの心理は①と②どちらが勝っていたのだろうか。

吉永小百合主演の映画を観に行く前、私はいつも気が重い。「小百合サンはきっといい人なんだろうけど」「いつもキレイなんだけど」「きっと熱演するよね」「たぶん体当たり演技だよ」「そして空転するんだよね」という予想。たいてい当る。まして今回の映画は、彼女の熱演を誘いそうな『動乱』『海峡』『華の乱』系統の「日本映画最高の感動大作」で、更に、話がトツ散らかり易い歴史群像劇という二重苦。私の心に吹き荒れるのは、北の大地に吹き荒れるブリザードのような不安感。しかし、今回その予想は外れた。

●圧倒的な北海道の自然

明治維新。淡路の稲田家は、徳島藩からの分離独立を主張した事から争いを起こし、主従500余名は北海道移住を命じられる。小松原英明(渡辺謙)と妻・志乃(吉永小百合)は、理想と希望に燃えてこの地に渡る。しかし現実は厳しかった。あとで渡ると約束した殿は、結局居住せず、家臣は見捨てられた形に。稲は育たずバツは襲う。食料不足は深刻になり、英明は寒冷地でも育つ稲を探しに出かけたまま行方不明に。志乃は皆から辛く当られ、ついには

英明を探しに出かけ、雪中で遭難するが、農業指導に来ていた外国人に救われる。5年後、牧場経営に成功した志乃のもとに、突然英明が帰ってくる。彼はある使命を持っていた…

日本映画では、金と映画の出来は必ずしも一致しない。(予算〇〇億円の超大作と謳われコケた作品の例、数知れず)しかし、この作品に限っていえば、15億円という予算が効果的に使われている。北海道ロケに相当の時間とお金がかけてあり、圧倒的な北の自然、特に冬のシーンが素晴らしい。これが映画の出来をかなり高めている。

●白雪姫＝小百合の克服

さて、吉永小百合。彼女のスタイルを「白雪姫」と考えればわかり易い。清らかに美しく、けなげで明るい頑張り屋。本人はずばらしいが、それをねたむ人間の策略に会い苦境に。しかし、悪は滅び、(または誤解は解け)彼女を救う王子も現れ、めでたしめでたし。

どこまでいっても、本人の美質(性=善)を疑ってはいけない。このサユリ文法に従わないと、映画は成立しない。大飯喰らいの新聞社論説委員で不倫も平気…という文法を無視した役柄を振った、大林宣彦監督の『女ざかり』の見るも無残な失敗が、その典型。(マイワースト③映画の1つ)。しかし、ヒロインが白雪姫では、薄っぺらい女性像しか描けないのも事実。本人に葛藤がないんだから。この映画では監督と脚本家は、それを克服する1つの秘策を編み出した。それは吉永小百合の分身を作ること。石田ゆり子演じる加代という女がそれだ。

●黒小百合の存在

身分の高い家臣の妻で、子どもを一人持つ加代。楚々とした外見といい、懸命に農作業に励むけなげさといい、途中までは志乃と瓜ふたつ。それが子どもを亡くし、食料すらままなくなる状況に陥るとガラリと変貌、夫を捨て、権力を握った商人のもとへ走る。腹には夫の子どもがいるが、それは商人の子であると平然と言い張り、育てさせる。志乃をののしり、自分を正当化する。しかし再び状況が変わり、商人が没落すると、また夫のもとに舞い戻ってくるのだ。どんな時でも節を曲げず、毅然と生きる志乃を白小百合とするなら、加代はさしずめ黒小百合

とでもいうべき存在だ。ふつう、人は白小百合への憧れは持っても、共感のはしにくい。そこに、「追いつめられた女はこれしかないよなあ…」と納得・共感できる黒小百合を据えることで、『北の零年』の女性像は単純にならずに済んだ。

●会社再建ストーリー

もう1つの懸念、「歴史群像ドラマは登場人物が多く、関係がわかりにくくなる」という不安を、監督・脚本家はどうか克服したか。これは話を現代の「会社再建物語」に「見立てる」ことで、見事に処理した。会社(藩)が倒産し、社長(殿)は経営を投げ出した。残った社員(家臣)は家族とともども団結し、新天地で会社の再建(開墾)に励む。新製品開発の希望を託した男は(渡辺=英明)は行方不明になり、新会社はますます傾き、ついには腹黒い銀行筋(商人)にのっとられそうになる。会社から離れ、外国人の援助で新プロジェクト(牧場)に携わった元社員(吉永=志乃)のみは成功する。権勢をふるった銀行筋も、更にその上の政府によって追い落とされるが、長年の再建努力に誇りを持つ社員たちは、ついに政府介入にもノーと言う気概を取り戻す…

ほらね、まんま企業ドラマでしょ。これだけわかり易く「見たて」をすれば、どんなに登場人物

が多くても大丈夫。このヒト会社側、こっちは新会社で頑張ってたけど、銀行側に取り込まれたヒトって訳ね、など、どんな長大な歴史ドラマでも、現代の状況に置き換えてスッキリ理解できてしまう。上手い。

●さて評価は？

この映画での吉永小百合の演技は、可もなし不可もなし。キレイで清らかな女(の子)が、苦難に負けず頑張るという役は、代表作(と言っても、遥か40数年前だけど)『キューポラのある街』のヒロイン・石黒ジュンのなぞり。従って彼女も安心して演じているので、「新境地を開拓しようとして熱演・空回り」というイタイ姿を見なくて済んで何よりだった。ヒロインといっても、まわりが芸達者で固めてあって(子役まで演技派)彼女が目立ってないのもいい(ワタシ、ほめてるよね?)。

出てくると、その存在だけで映画のリアリティを薄くしてしまう吉永小百合との戦いに、シナリオの工夫と北海道の自然の美しさで対抗した監督・脚本家タッグが辛勝・・と言うのが私の判定。日本映画もやっと吉永小百合の扱い方を見つけたのかもしれない。



ところ
変われば

「国連婦人の地位委員会」閣僚級会合が開かれているニューヨークの国連本部で3月2日、女優のメルル・ストリープがNGO「イクオリティー・ナウ」を代表して会見し、日本を含め多くの国で女性を差別する法律が存在すると警告。「男性と違って女性は、離婚後も6カ月間結婚できない」と日本の民法もやり玉に挙げた。このニュースタ方のNHK TVでも流れて結構日本でも話題に！

小百合ちゃんも、ビッグネームをこういう風に使ってくれたらな～

<http://webcast.un.org/ramgen/pressconference/pc050302.rm> (彼女の会見が見れます)

女たちの元気流 [おんな労働組合(関西)]

167-169号

ベスト電器一和解「会社・弁護士とも協定書案さえ作ってこなかったのか、ほとんど組合案そのままの協定書、謝罪文内容で合意できた」とのこと。現在は精神的障害について労災申請をしている。この事件をテーマにビデオを試作しようと、女性団体対象のビデオ制作講習会を受けている。8月ごろ完成!

京ガス裁判。争点のひとつに、①賃金決定において男女差別が存在するか否か②差別が存在するとしてその損害額はいくらかである。その根拠となる賃金台帳の分析結果をどのように書面にして訴えるかに原告は苦労している。裁判長の資質もあって、油断できない状況。

三共精版でのゆきさんの闘い。性別越境者としてミソグアトしたらひどい暴言・嫌がらせを受け休職。地労委の斡旋で12月から職場復帰の模様。

国立病院が独立法人化へ移行するのに伴い雇い止めや労働条件の大幅切り下げが行われている。

奈良県立医大アカハラ名誉毀損裁判。最高裁で確定したアカハラだが、其の事実の情宣を被告教授が名誉毀損で訴えたら認められてしまったのです! 弁護士も逃げた教授らしいが、傍聴者の少ないのが心配とのこと。

VOICE OF WOMEN

[日本女性学研究会] NO.256・257・258

「母性神話に完敗」・・・大分県で子育て支援のソポルマークと三行詩の選考委員をしたが多勢におされ不本意な結果に終わる。「我が子から初めてママと呼ばれた日/思わず涙が溢れ出す」が知事賞!

「男女平等を憲法から消すな! 憲法 24条の改悪を許さない共同アピール」掲載。

賛同者は fax 03-3463-9752、

メール savearticle24@yahoo.co.jp へ名前と肩書きと協賛金の口数を送ってください。団体1口:3000円 個人同:1000円 振込先:郵便口座 00130-4-354308「24条キャンペーン」あて

「女性学年報25号合評会」～ファッションと美容とフェミニズム～オシャレになりたい、キレイになりたい、わたしたち?と題してビデオとお話。3月12日(土)13:30-17:00ドーナツター(大阪府立女性総合センター)美容やファッションのおける女たちの実践と戦略を論ずべし。

「美術館博物館の《性別役割分業》を考える」12月例会報告。背景には男尊女卑の社会通念だけでなく女性考古学者が極端に少ないこと、発掘調査の理解をえるために一般向けわかりやすい説明をとしたがる風潮があるとのこと。博物館の展示も鵜呑みにせず、疑問をもって見る必要があるようです。

愛知女性研究者の会会報 第200、200号

11月例会報告「寛容をめぐるポリテイクス」風間孝（中京大学教員）。日本では同性愛に文化的に寛容なのでシグナメントはなじまないとする議論があるが、それはその寛容が内包する同性愛嫌悪の力をみてないだけ—難しい説明だがこういうことらしい。

岡谷綱機女性差別裁判の判決要旨（坂本福子さん文責）および抗議行動のよびかけ。3月8日 12:20 から名古屋地方裁判所まえにて。



キンコウアザミ (ミモザ) 写真家 [Kazuo Minami]

3月8日はミモザを持って集まろう！

均等待遇 東海 通信1

「非正規雇用者」が差別を受けることなく安心して働ける社会をめざして、全国の運動と歩調をあわせながら学習会を中心に活動。賛同していただける方は下記へ。

会費 2,000 円/年

郵便振替 00840 2 80416

「均等待遇東海」

連絡：名東区西山本通 2-5 川合西山マンション 1-C 古守気付

tel：090-4086-9821 090-2343-2085

メール：aika@msi.Biglobe.ne.jp

女差別別賃金をなくす連絡会ニュース

2004.10.14号、11.18号 12.15号 05.1.13号

野村證券女性差別事件全面解決。3名総合職掌（課長代理）職に、解決金の支払いの内容で和解。弁護士声明文、東京高裁和解勧告前文掲載。

連合通信社の配信誌によると、「運動なければ均等法改正は困難」と岩田喜美枝前厚労省局長が都内シンポで述べた。85年は運動があり、マスコミも取り上げ、97年は路線のまますすめられた。今回はなんの運動もなく心配しているとのこと。

それゆけ女たち

no・139,140、141

- 『韓国女性人権運動史』韓国女性ネットライオン連合編、（明石書店）6,800円の読書会。

第1章 性暴力追放女性運動史

韓国の民主化運動のなかで扱われてきた女性問題が電話相談から掴んだ女性への差別と暴力を認識し、83年女性ネットライオンが誕生。90年代には性暴力特別法の制定に進み、性暴力が個人的問題ではなく社会の問題と明記。

第2章 韓国売春女性運動史

「売春」ではなく「性売買」という用語を使うことにより、性の産業化と取引の側面を際立たせ、女性の抑圧を浮き立たせることができる。

---今日から性売買と表現しよう！

ほか、・「希望格差社会」を読んで考えたこと ・産婦人科佐々木静子さんの講演を聴いて。

明日来

[がっこうコミュニティユニオン] 17巻 8,9,10号

「愛知万博への生徒動員に対する要求書」を出したそう。4億円の予算を計上して小中生を動員。それにより、本来の教育活動が混乱し、教師の負担は増加、行政の教育内容への介入は教育基本法10条違反である云々。

「基礎学力低下論のマジック」によると、高校生の基礎学力が落ちているのは、小中で教えてないからである。学習してなきゃできないよ、というワケ。

あごろ札幌

no・255,256,257

「おりえのアメリカ日記」(3), (4) 『紅一点論』斎藤美奈子著(ちくま文庫)が面白いと小松さん。子供にとって身近なメディアでなされる刷り込みの分析。その鮮やかさに驚嘆! だそうです。

「おんな組いのち in さっぽろ 憲法改悪を許さない女たちの戦いを」12月14日に札幌であったおんな組(辛さん、中山さん、朴さん)を呼んだ集会開催。

NEU ふれあい通信 61,62, 63号

[名古屋ふれあいユニオン]

NTT ネオメイト解雇事件解決! Oさんは解決金の支払いを勝ち取りました。ただし、謝罪なし。11月に行ったパート・派遣ホリライに28件の相談あり。うち、22件女性から。高瀬物産にてモルなき上司によるセハラ、退職強要。交渉中。

番外 熊野の大峯山の女人禁制門に行ってきました。時期はずれで修験者どころか、誰もいなくて、入っていても全然平気な雰囲気でした。5mくらいは入ってみました。今のところ、元気しております。女人解禁すれば村興しに必ずなると思うのだけど…(加須)



手違いで、前号(1月)の「資料室」が掲載できませんでしたので、今号は、昨年10月ごろからの資料になっています。



INFORMATION・情報・じょうほう



【かけこみあいち講演】

著者が語る「弁護士が説くDV解決マニュアル」活用法

—DV被害の渦中の方、支援者にむけて発信された弁護士からのメッセージ—

講師：長谷川京子(女性の権利、特にDVに関わる分野で活動し、DV防止法の研究や提言を行ってきた。1998年～日本DV防止情報センター設立に関与。2001年3月～「被害者のためのDV法を求める全国連絡会」共同代表)

日時：3月12日(土)13:30～16:00

場所：名古屋市女性会館 視聴覚室 参加費 各1200円

主催/問合せ先 かけこみ女性センターあいち(できるだけ事前申込み)

電話 FAX : 052-853-4479 mail : stop-dv@poppy.ocn.ne.jp



【4部構成ワークショップ】

「IMAGE そのイメージを疑え」

1. 私のあなたのイメージ考 現代美術家 椿原章代
2. 写真やアートに見られるジェンダー 写真研究者 小林美香
3. からだをほぐしてパフォーマンス体操 イトー・タリ
4. 映像作家 出光真子の世界 出光真子

このほか参加費無料 出入り自由のフリープログラム 視聴覚展示あり

日時：3月12日(土)11:00～19:00

場所：つながれと Nagoya 参加費 各1000円

企画：NPOプラグマ 後援：市民とメディア研究会・あくせす 申し込先 info@pragma.jp



【つながれとまつり2005プレセミナー】

「著者の語りおろし『希望格差社会』」

講師：東京学芸大学教育学部教授 山田昌弘

日時：3月19日(土) 午後1時30分～4時



【つながれと Nagoya 主催講演】

「今、世界に目を向けること 日本にいる女性ができるボランティア」

講演：NPO 法人宇宙船地球号事務局長 山本敏晴

日時：3月19日(土) 午後1時30分～4時

場所：つながれと NAGOYA 交流ラウンジ(旧名古屋市勤労女性センター) 参加費：無料

《要》申し込み・問合せ：つながれと NAGOYA 052-241-0311



◆ NagoyaYWCA 親子でセルフディフェンス講座◆

～自分で体とところを守ろう～

日時：3月27日(日) 1年生～4年生 10:30～12:00 5年生～中学生 1:30～3:30

参加費：500円 要予約 * 動きやすい服装・くつでお越し下さい

場所：名古屋YWCA wcnyc@nagoya-ywca.or.jp TEL 052(961)7707 / fax 052(961)7719

フェミニズム英語グループ訳

アフ・グレイブにおける性的恥辱、ジェンダーの混乱と恐怖(1)

ジラー・エイゼンシュタイン

(2004.06.22)

昨年、イラクのアフ・グレイブ収容所で起こった、米軍女性兵によるイラク人の性的虐待事件についての衝撃的な報道を覚えていますか？この意味するところに関する、米のZNetというサイトに載った評論を訳しました。今回はその前半部分。メンバーの合作です。

ニューヨークタイムスはアフ・グレイブに拘束されていた囚人が新たに釈放されたと報じている。写真では17歳の若者が母親と姉妹に擁かれていて、彼の体は家族の腕にしっかりと抱きとめられている。若者は私の娘より二才年下だ。果たして彼は味わった恐怖から回復する事があるのだろうかと思ひ私の心は沈む。

イスラム教徒の男性がアフ・グレイブで性的恥辱を受けたと記事にある。労働者階級の白人女性がイスラム教徒の男性を「意のままにする」のに使われた。この一対の出来事を持つ意味を私は考え続けている。「拷問」や「レイプ」ではなく「恥辱」という言葉の使われ方に私は拘っているのだ。ボスニア戦争時に私が会った、レイプキャンプに送られた女性たちは恥辱を受けた、ではなくレイプされたと表現されている。

言葉の選択で明らかにされるものがある。レイプされ性的に貶められた男は「恥辱」を受けたのだ。なぜなら女のように扱われたのだから。性的に支配され貶められ女のようなことを強いられたからだ。裸にされさらし者になった男は通常は女性性と結び付いている犯し易さを私たちに思い起こさせる。

アフ・グレイブの褐色の男たちはしたがって女々しいものとして構築され同性愛を言外に匂わせている。

初めてこのアフ・グレイブの拷問写真を見たとき私は打ちのめされ、ひどく心が痛んだ。彼ら、がではなく「私たち」が狂信者で過激主義者なのだ、と私は思った。翌日まで私はアフ・グレイブのことを考え続け、このよう

に大勢の女性がどのようにしてこの残虐行為に関わったのだろうかと思ひ詰った。

拷問を加えた三人、ミーガン・アムブル、リンディ・イングランド、サブリーナ・ハーマンはこの映像報道の主要人物であるが、白人女性である。イラク刑務所の責任者、海兵隊准将ジャニス・カーピンスキーも白人女性。米情報省司令官で刑務所拘置者の状態を再調査したバーバラ・ファストも同様である。

コンドリーザ・ライス国家安全保障補佐官は黒人女性として、構図を入り組んだものになっている。ライスとは対照的に、拷問されている写真は褐色のイスラム教徒の男性のものだ。一方、米兵によるイスラム教徒の女囚への虐待と強姦については、報告はあるが、「実証されていない」ものとして、アフ・グレイブの拷問の描写ではほとんど触れられずにいる。

以下、私が議論を展開する際、この点を見失わないでいただきたい。この論考では、アフ・グレイブの物語に見られる、人種差別が原因で沈黙させられている事態と、ジェンダーの混乱を取り上げたい。特異な面と普遍的な面をともに持つ軍事化された今の時期をよりよく理解するためである。アフ・グレイブは、戦争の本質と実態がどのようなものか、一つのおぞましい姿を暴露しているとともに、一国主義的に軍事化されたグローバリズムの重大な時期である現在の、テロへの戦争、あるいはテロを巡る戦争がどんなものか、ぞっとする有様を暴いているのである。

しかし、私には、いま答えられることより疑問の方が多い。軍事化された時期、男権主義が極みにある戦争の時に、なぜ、女性がこのような拷問に関わるような特別な権限のあるポストに就くことになったのか。このようなポストは、権限のある地位の中でも時代錯誤な場所だからかもしれないと考えている。軍隊は次第に民営化され、企業化されているからだ。

ラムズフェルド国防長官は、軍の縮小と再編成を実行している。多分、女性には制度化された権力の中で用なしになったポストが与えられているのだ。まさにそれが、これらの立場に非難の鋒先が向けられ易い理由かも知れない。

虐待した女性達は、勿論責任をとり説明する責任も負うべきだ。けれど彼女達は男にとつての異性としての囚でもある。

性的虐待は、女という性がいつでも犠牲に

なっている。その酷い行為に加担することで彼女達は囧としてさらに混乱を引き起こしているのだ。

この性別の交換は、従来型の男性優位および人種差別をそのまま残して、性を男から女へ、女から男へかえただけなのだ。つまり軍服は以前のままだ。だから軍服を着ると、男も女も男性的なコマンダー或いは帝国の協力者になりうるのだ。ところが、この場合白人女性は男性主義の帝国建設者のように褐色の男達は女のようにホモのように見えている。

いつも権力や支配が アブ・グレイブのように醜悪な形で姿を現わすと、隠されていた性や人種で差別するその意図が明らかになってくる。

人種差別や性差別が常に同時に作用するのは、お互いがもう一方を構築しているからである。一方が暴かれると、もう一方は待機している。民族、性、ジェンダーの混合関係が顕著に現れる例は、O・J・シンプソンの裁判や、クラレンス・トーマスの承認公聴会、ロドニー・キングとアブナー・ルイーマの殴打事件とその結果（としての暴動）である。

問題が人種差別的な性なのか性差別的な人種差別なのかははっきりしようがない。また果たして本当に切り離せるのかもはっきりしない。アブ・グレイブの場合は、人種の記号化が帝国を建設するためにジェンダーの意味とその混乱の種を地中深く蒔くために使われている。女性のように扱われる男性は、人間以下になるのである。それは白人男性という意味ではなく、白人女性でもない黒人奴隷の女性のような意味である。イスラム教徒の男性は、ユダヤ人や全ての宗教におけるセム人の男性と同様、白人男性のように男らしくないと見なされるのである。

このことは、黒人奴隷の男性が主人によって妻や子どもの強姦を無理やり見せられるようなものである。ただし、同性愛ではなく性欲亢進症であるという点で黒人男性は白人男性と「違っている」とさせられるということは除くのだが。

それで黒人男性はリンチを受け、手足を切断されたり、去勢されたりする。政治的文脈では男性も女性も男権主義者の非道行為をとることがある。

ブッシュ政権がアフガン戦争時にタリバンの女性の扱いに反対するという名目で行った爆撃を正当化するために、女性の権利と

という言葉を使用したことは非常に卑劣だ。そして再び、サダムフセイン体制下の拷問やレイプに反対するとして同様なことを行った。

あらゆるフェミニズムについて常に悪口を言っているローラ、マリー・マタリン、カレン・ヒューズといったブッシュを取り巻く女性達は、戦争の大義のための帝国主義的女性の権利を正当だとする理由をはっきり述べなければならぬのは当然だ。

帝国主義的または帝国主義者のフェミニズムはジェンダーの囧が使用されていることをあいまいにする。女性は被害者であり加害者でもある。抑圧されているが自由でもある。正確には司令官でも囧でもないのだ。もし、レイプや性的恥辱が戦争時の逸脱行為としてではなく、単に「別の手段の戦争の一形式」と解釈されたらどうなるだろうか？

そこで、多くの女性が拘束やレイプを恐れて外出しようとせずバリケードに囲まれて家に閉じこめられている混乱と混沌のイラクでにかんして、異なった文脈が見て取れる。また、ペルシャ湾岸地域で、多くの米女性軍人が暴行とレイプで同僚の軍人を最近告訴したことについても違った見方ができることになる。

2002-2004年の2年間間に、イラク、クウェートとアフガニスタンで、少なくとも112件の性的不正行為の報告が米女性軍人から提出された。

いったいこれは誰の戦争であろう？何故戦争のストーリーはいつもこのような軌跡を辿るのだろうか？

なぜバルカンの戦争では、セルビアナショナリズムを鬼畜扱いする目的で、女性へのレイプが物語りの中心に据えられたのに、回教徒男性囚人へのレイプと性的陵辱がおおむね沈黙させられたのだろうか？そして、なぜ、今日回教徒男性への性的陵辱が話題の中心になっているのに、同じ回教徒女性への暴力は黙殺されているのだろうか？

なぜなら今日の軍国主義的男権主義はジェンダーのすり替えにより女性を男性から無理やり差異化することで機能しているからだ。即ちおとりの白人女性自身の異性愛的な視線を通ち、男女お互いを「他者化」し差異化することで機能しているからである。

以下引き続き和訳取り組み中です。私たちと一緒に原文を読みたい方や、その他ご意見のある方、akanenotes@hotmail.com まで御連絡ください。